

岐阜県飛騨市

令和6年度 当初予算のポイント



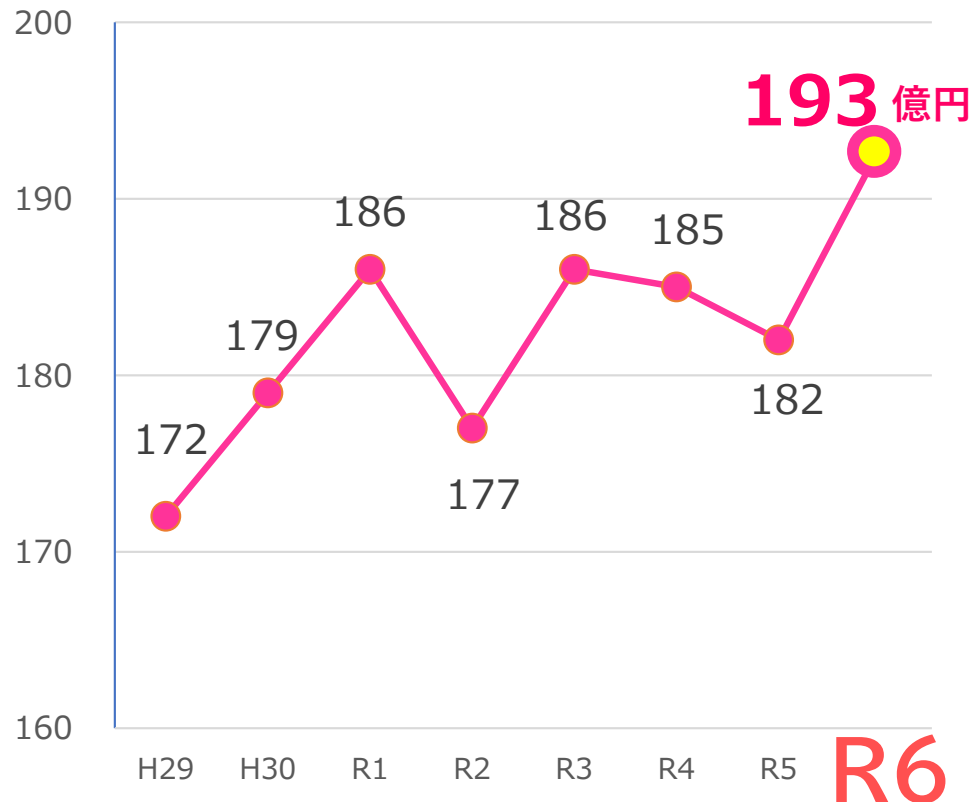
令和6年2月

R6予算の規模

一般会計

192億5,000万円
(※市制施行後 最高額)

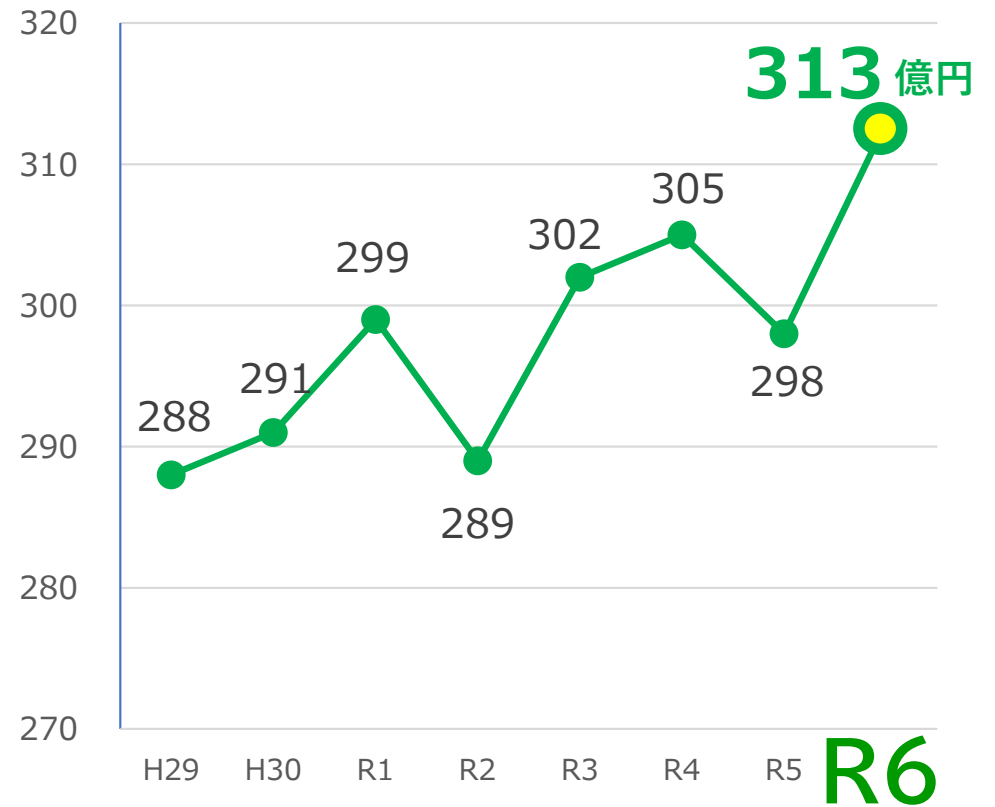
対前年度 10億5,000万円の増(5.8%増)



全会計

313億0,000万円

対前年度 15億1,000万円の増(5.1%増)



令和6年度予算の政策立案にあたり

現状

- ◆ 市内では人口減少・少子化による産業や地域の担い手不足が深刻化し、これまでと同様に事業や活動を維持継続することが困難となっている
- ◆ 物価変動が概ね終息し、物価に合わせた賃金体系や社会・経済構造へと向かうフェーズの中でも、取り残される人たちへの対策が求められている
- ◆ SDGsや脱炭素化・DX推進による省力化など、持続可能な社会づくりが世界全体の目標となっている

課題

- ◆ 人口が少なくなることを前提として、少ない人口でも産業や地域を維持していくための仕組みをどう打ち出すか
- ◆ 実質賃金が物価に追いつかないなど、税収・地方交付税等の財源の見通しが立たない間の財政運営をどう乗り切るか
- ◆ 地方自治の本旨である弱い立場にある方々への支援をどう充実させるか
- ◆ 限られた財源と職員数の中で行政サービスや公共施設をどう維持するか

令和5年度に引き続きキーワードを「**持続可能**」として政策を検討

令和6年度予算のテーマ

『持続可能な飛騨市づくり』の追求



元気な 飛騨市づくり

— しごとを守る —



あんきな 飛騨市づくり

— まちをつくる —



誇りの持てる 飛騨市づくり

— 風土・ひとを伸ばす —

R6予算編成の総括

- ◆ 令和6年度予算は、公共施設整備への大規模投資・アウトソーシングの推進に伴う増額により、**市制施行後最大規模となった**

【主な理由】 ① 市民生活を守るために不可欠な公共施設整備を推進

防災行政無線デジタル化 6.0億円、消防署庁舎改修 1.6億円、環境衛生施設維持修繕 4.0億円

② 市役所業務のアウトソーシングを積極的に推進

アウトソーシング関連予算 +3.1億円(26項目)

③ 物価高騰とそれに合わせた賃金の見直しに伴い経常経費が増加

会計年度任用職員勤勉手当 +0.5億円、委託料のコストアップ +0.8億円(449項目)

④ 行政が携わらざるを得ない分野のコスト増

生活弱者対策・コミュニティ活動維持対策関連予算 +0.5億円(12項目)

- ◆ 物価に合わせて賃金の見直しが行われつつあるが、まだ調整局面であるため、**税収の伸びや地方交付税といった財源が見込めない状況**

- ◆ こうした中でも知恵と工夫を凝らし、「**元気で あんきな 誇りの持てるふるさと飛騨市**」の**実現**に向けて、持続可能な飛騨市づくりをテーマに予算を編成した。

R6予算 歳入・歳出の主なポイント

歳入

- **市税35.0億円**(前年比△1.1億円)
 - 市民税は、扶養家族1人あたり1万円の減税を行うため、交付金への振替により減額。(△0.9)
 - 固定資産税は、3年に1度の評価替えに伴う既存家屋の減収。(△0.4)
- **地方交付税等74.8億円**
(前年比+1.5億円)
 - 地方特例交付金は定額減税減収補填特例交付金が皆増したことによる増額(+0.9)
 - 地方交付税は公債費減少の影響、地方財政計画による地方交付税総額の伸び率等を勘案。(±0)
- **繰入金24.7億円**(前年比+2.1億円)
 - クリーンセンター等修繕費に対し清掃施設整備事業基金から繰入。(+3.4)
 - 市内雇用拡大・地域経済活性化に向けた企業立地促進基金から新たに繰入。(+0.8)
- **市債13.6億円**(前年比+5.4億円)
 - 緊急防災・減災事業債では防災行政無線デジタル化事業、過疎対策事業債では道路整備および住宅新築・購入支援事業等の財源として計上、全体で増額。(+5.4)

歳出

- **人件費32.9億円**(前年比+0.7億円)
 - 人事院勧告による月例給やボーナスの増額に加え、会計年度任用職員の勤勉手当0.5億円が皆増したことにより増額。(+0.7)
- **物件費35.6億円**(前年比+3.7億円)
 - 放課後児童クラブ等包括的業務委託など、アウトソーシングの推進による委託料の増額。(+1.9)
 - 物価や人件費アップにより経費加算が増えた委託料の増額。(+0.7)
 - 小中学校ICT機器更新等による増額。(+0.5)
- **公債費17.3億円**(前年比△2.9億円)
 - 合併特例債を活用して実施した古川西小体育館整備、ごみ焼却施設整備など過去に借り入れした借金の返済が終了することに伴い減少。(△2.9)
- **普通建設事業費30.6億円**
(前年比+7.7億円)
 - 防災行政無線デジタル化事業、古川消防署庁舎大規模改修、宮川保育園園舎移転事業、スクールバス更新等に伴って増額。(+7.7)

市債(市の借金)償還額の推移

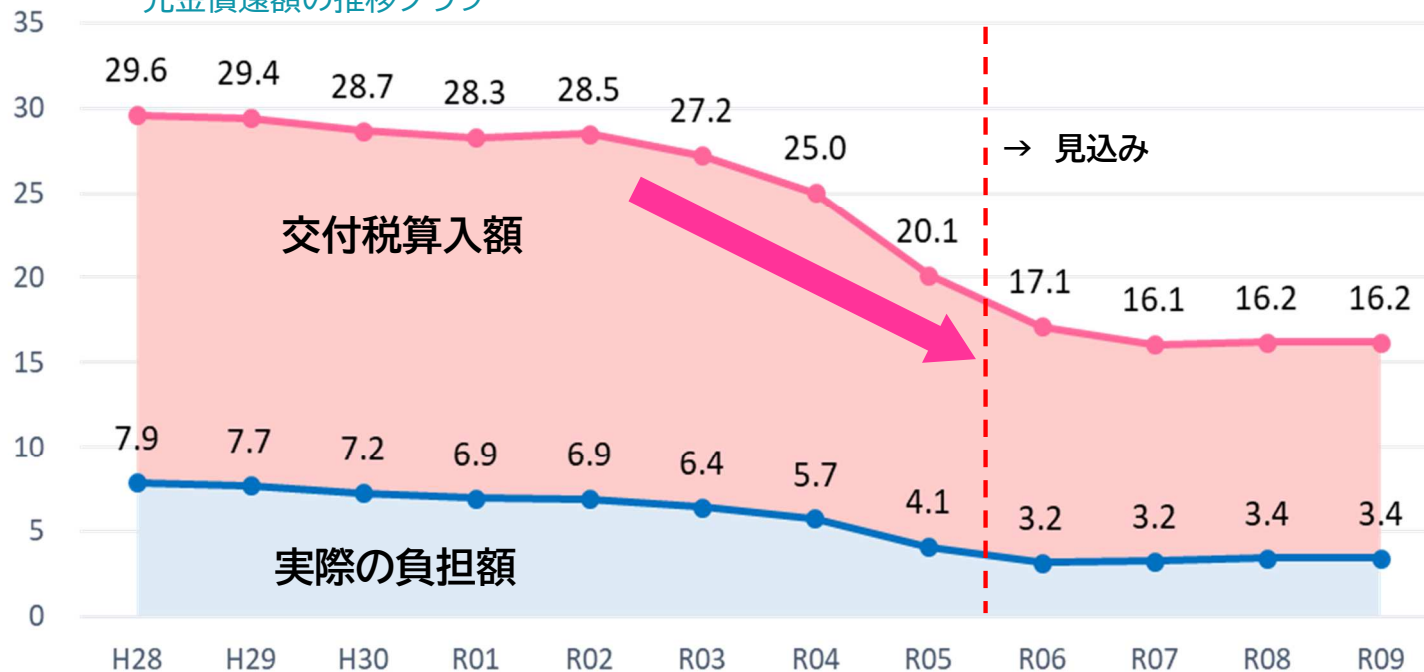
市債発行の基本方針

- 市債を発行(借金をする)場合、後年度の償還金(返済金)に対し地方交付税措置のある有利な起債に限定しています。
- プライマリーバランス(市債の借入額と返済額の差額)の黒字を維持します。

償還額の推移

- 地方交付税措置分を除く実際の市の負担額は令和2年度をピークに減少してきましたが、令和6年度以降の大型事業による借入に伴い、減少傾向は緩やかになる見込みです。

元金償還額の推移グラフ



主な大型事業の
令和6年度 市債発行予定額

- 防災行政無線デジタル化
6.0億円
- 古川消防署庁舎改修
0.2億円
- 市有施設照明LED化
0.2億円



積立基金(市の貯金)の推移

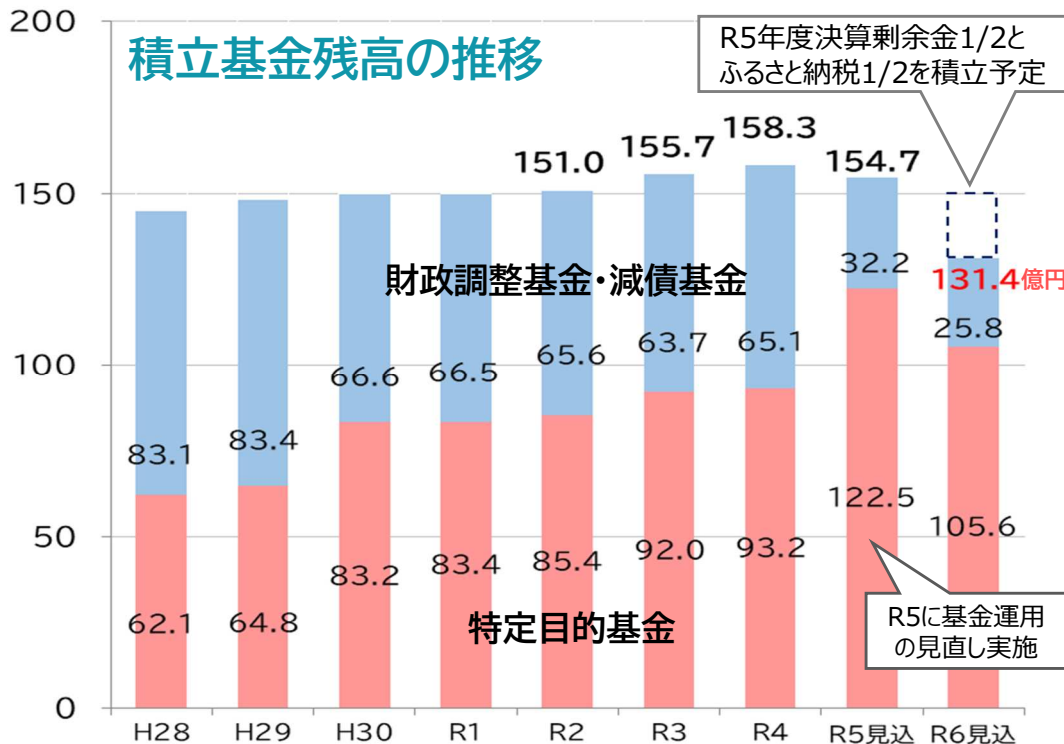
ポイント

地方財政法により余剰金(1/2以上)の積み立てが義務付けられていることから、当初予算では予め一定額を取り崩すこととして計上し、決算時における基金残高の平準化を図ります。

ふるさと納税に過度に依存した財政運営にならないよう留意し、通常メニューの5.0億円と個別メニュー1.3億円を合わせた6.3億円を取り崩し、年度間の財源調整と政策の質の維持向上を図ります。

主な取り崩し額

- **財政調整基金 6.5億円**
年度間の財源調整のため
- **ふるさと創生事業基金 6.3億円**
寄附者の意向に沿って地域振興や困難を抱える方々への支援など
- **公共施設管理基金 3.2億円**
公共施設を適正に維持するための予防修繕など
- **合併基金 1.0億円**
神岡認定こども園整備、宮川保育園園舎移転整備、市制20周年記念事業など
- **清掃施設整備事業基金 3.4億円**
飛騨市クリーンセンター等衛生施設点検整備など
- **社会基盤維持基金 1.2億円**
交通安全施設整備、県道改良事業負担金など
- **まち・ひと・しごと創生事業基金 0.8億円**
ソーシャルビジネス支援交付金など



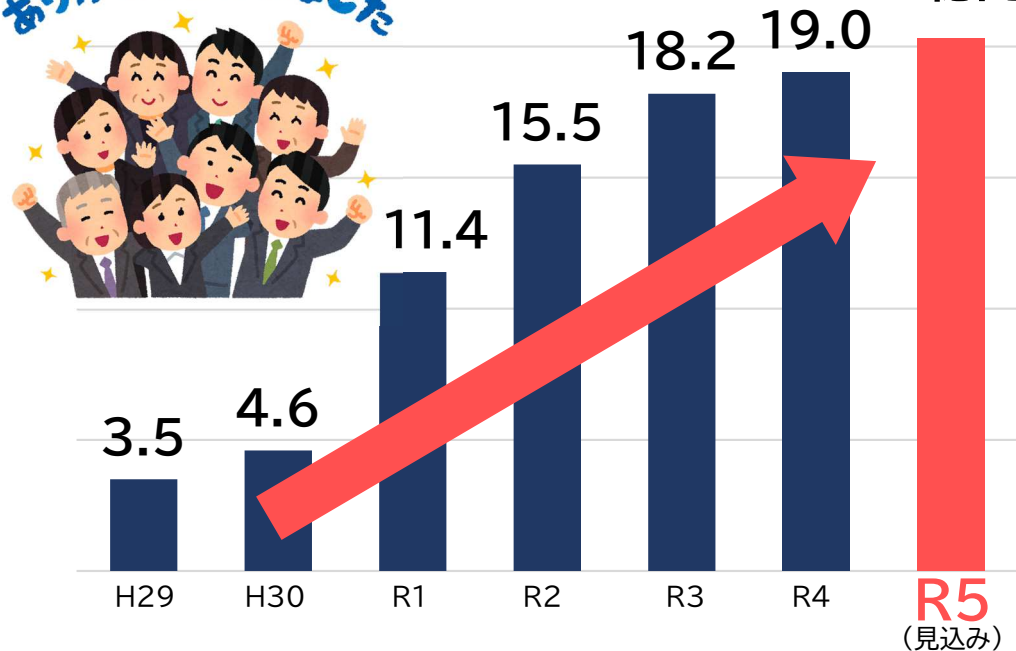
ふるさと納税寄附額と活用

令和5年度

ふるさと納税額 **20.3**

億円

ありがとうございました



上記から経費・返礼品を除いた約10億円と
過年度の留保額を合わせた**活用可能額は25.8億円**

令和6年度当初予算では
7.1 億円を活用

※ソーシャルビジネス支援交付金0.7億円、まちづくり支援交付金0.1億円を含む

	使 途	活用額
汎 用	地域振興・観光・まちづくり・防災	2億5,623万円
	福祉・子育て支援・生きづらさや困難を抱える人たちへの支援	1億1,787万円
	教育・文化・芸術・環境保全	9,514万円
	飛騨市の子どもたちを大きく育む！ドリームプロジェクト	3,076万円
特 定 目 的	飛騨市こどものこころクリニックの運営	3,204万円
	東京大学宇宙線研究所との連携	1,916万円
	レールマウンテンバイクガッタン・ゴーによる地域振興	1,500万円
	飛騨市を舞台とした若手音楽家・芸術家の育成プロジェクト	630万円
	飛騨市オリジナル映画ドラマ制作プロジェクト	381万円
	飛騨みやがわ考古民俗館の茅葺き民家の保存・活用	3,000万円
	飛騨市民病院による地域医療を支える人づくり	484万円
	飛騨市で開催する関西中学生ラグビーフットボール大会への支援	310万円
	飛騨市の子どもたちをスポーツで元気に！	1,286万円
	先駆的なこどもまんなか支援の実践	695万円
	日本一の猫助け事業を飛騨市から！	5,000万円
	子どもたちにワクワクする学びを！	2,000万円
女神に恋する立ち達磨を恋の聖地に	500万円	
市制20周年に子ども達へ大輪の花火	500万円	


R6予算における主要事業

大型事業予算 13.3 億円

- 防災行政無線のデジタル化 **6.0 億円**
(14ページ)
- 宮川保育園舎の移転整備 **0.6 億円**
(14ページ)
- 高齢者のスポーツ環境整備 **0.5 億円**
(15ページ)
- 学校タブレットPC等の整備 **1.1 億円**
(19ページ)
- アウトソーシング (26項目) **3.1 億円**
(20ページ)
- 持続化の取組み (27項目) **2.0 億円**
(20ページ)

主な特色ある事業

- 子育て応援クーポンの発行 **1,500万円**
(14ページ)
- 思春期健診の実施検証 **370万円**
(14ページ)
- 古川市街地の夜間景観改善 **220万円**
(11ページ)
- カミオカラボリリニューアル **1,164万円**
(11ページ)
- 止利仏師伝説バスツアー **57万円**
(18ページ)
- 姉小路氏城跡の継承 **650万円**
(19ページ)

※ 次ページ以降の事業説明中、 マークがある事業は持続可能な飛騨市づくりのために重点的に行う施策です。



元気

外貨獲得の仕組みをつくる

販路や誘客の拡大を図るため、市内の高い価値を持つ食材や特産品、観光資源を活用した取組みを行います。



新規★
**台湾・シンガポールにおける
現地商談会の開催** **300万円**

市輸出アドバイザーの支援を得ながら、台湾における輸入事業者個別訪問、展示会出展等の現地営業に加え、シンガポール市場進出に向けた現地調査を開始します。

新規★
名産品パンフレットの制作 **30万円**

更なる販路拡大を進めるため、企業や各店舗及び催事やイベント時に市産品を売り込むツールとして、データでの利用も可能な「飛騨市名産品パンフレット」を作成します。

拡充▶
飛騨市まるごと食堂の開催 **260万円**

飲食店と生産者のマッチングによる期間限定メニューフェア「飛騨市まるごと食堂」を市内開催するとともに、市にゆかりのある首都圏や東海圏の飲食店でも開催します。



拡充▶
食の大使を活用した『食』のPR **365万円**

食の大使を通じて、首都圏等の影響力のある料理人に飛騨市の食材を取り扱っていただくことで、飛騨市の「食の営業」を積極的に展開し、食材のブランド化を目指します。

新規★
**瀬戸川・まつり広場エリア
の夜間景観の改善** **220万円**

瀬戸川(一部)・まつり広場の夜間景観、照明を改善するための基本設計を行います。



新規★
**神岡町市街地における
照明実験ワークショップの開催** **29万円**

神岡町市街地(神岡城、藤波八丁等)において、市民参加による照明実験ワークショップ「照明探偵団」を開催し、夜間景観について意見交換を行います。

拡充▶
飛騨の匠文化館リニューアル **624万円**

飛騨の匠文化館が令和7年4月に市へ譲渡されることから、古川の町並みの歴史や匠の大工技術等を学ぶことができる施設としてリニューアルするための検討を行います。

拡充▶
カミオカラボ展示リニューアル **1,164万円**

令和5年度で開館5年を迎えたカミオカラボについて、令和5年度中に関係者で検証した意見を集約したうえで、今後のリニューアルに向けた詳細設計を行います。

元気

持続可能な産業基盤をつくる

人口減少の中で市内産業の持続化を図るため、人材を確保する取組みに加え、DX等の省力化推進のための取組みを行います。



新規★

社宅整備支援制度の創設 150万円

市内企業が人材確保のために空家等を活用して社宅を整備する場合の支援制度を創設し、空家等の改修に必要となる経費の1/2(上限150万円)を助成します。

新規★

Iターン就職者向けマイカーローン利子補給制度の創設 50万円

飛騨地域の生活には自家用車所有の必要性が高いことから、移住労働者向けマイカーローン利子補給制度を創設し、利息分の1/2(上限5万円・最大3年)を助成します。

拡充➡

求人情報掲載に係る支援 200万円

市内企業が人材確保のために大手就職情報サイト等に求人情報を掲載する場合に必要な経費に対し、2/3(年2回まで、上限50万円)を助成します。

拡充➡



公共交通の運転手確保 40万円

従業員が第二種運転免許または大型第一種運転免許を取得する場合の費用を助成する公共交通事業者に対し、助成額の1/2の額を支援します。

拡充➡

事業承継の支援 ゼロ予算

伝統を持ち、地域にとって必要な市内商工業を守るため、税理士法人及び商工団体を中心として事業承継に関する相談・支援を行う「事業承継ネットワーク」を整備します。

拡充➡

企業立地の促進 7,689万円

市条例に基づき、市内で新たに事業所を設置または増・移設する事業者への助成を行い、企業立地を促進することで、市内の雇用拡大と地域経済の活性化を図ります。

新規★

スマート林業への支援 60万円

林業事業者が市内森林においてドローンやレーザー測量技術等を活用して行う森林詳細資源量調査に要する経費の1/2(上限30万円)を支援します。

拡充➡



レーザー測量等を活用した地籍調査の推進 7,133万円

土地所有者が机上で境界を確認できるよう、ピンポイントでドローン等による高精度の航空測量を実施し、土地の地形がより明らかになる図面を作成します。

元気

未来へ繋ぐ農林畜産業をつくる

農林畜産業の持続化を図るため、人材の確保・育成、担い手農家や営農組織への支援を行うとともに、豊富な森林資源の保全・活用を推進します。



新規★

土地利用型農業の検討

26万円

土地利用型農業検討会議を立ち上げ、市内の大規模担い手農家や集落営農組織と一緒に将来的な土地利用型農業の方針や課題を協議、検討します。



新規★

市による農業機械の貸出し

749万円

市でトラクターを購入し、機械更新ができない水稻農家や水稻生産の作業受託を担っていただく農業者に対する農業用機械貸出制度の創設に向けた実証を行います。

新規★

耕作放棄地利活用の検討

650万円

耕作放棄地対策として、国の補助制度を活用し、古川町黒内地内の元果樹園地においてワイン用ブドウの植樹に向けた荒廃農地の整地工事を行います。

新規★

有機農業産地づくりの支援

948万円

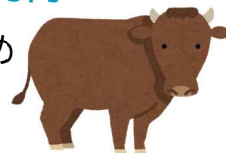
有機農業分野での人材育成や生産体制の構築に加え、販路拡大や認知度向上、地域の雰囲気づくりを通じ、将来にわたって環境にやさしいまちづくりを目指します。

新規★

牛放牧による耕作放棄地の粗放的活用

600万円

古川町黒内地内において国事業を活用し、農用地保全のための粗放的利用として放牧を行うものとし、そのために必要となる牧柵設置工事を行います。



新規★

地域フォレスターの育成

ゼロ予算

森林の整備・保全と林業の成長産業化に向けた取組を牽引する技術者(地域フォレスター)を育成し、市内の林政における専門的・技術的業務を担う人材の確保に繋がります。

拡充▶

広葉樹活用ネットワーク化の推進

96万円

広葉樹の安定供給を目的として、飛騨地域の自治体が連携して広葉樹生産を行う仕組みづくりに向け、そのキックオフとなるシンポジウムを開催します。

新規★

クマ出没対策の強化

400万円

クマを誘引するおそれのある果樹等を伐採する費用への支援を時限措置として拡充するとともに、猟友会に対しドラム缶などの支給等を行い、クマ捕獲体制の強化を図ります。

持続可能な暮らしをつくる

これからも安心して暮らせるまちをつくるため、住環境・子育て環境や防災体制の整備、地域コミュニティ活動への支援などを行います。



新規★

子育て世帯応援クーポンの発行 1,500万円

子育て世帯支援のため、1才～18才までの子1人につき5,000円分のクーポン券(電子クーポン)を交付します。

新規★

公私連携保育所型認定こども園設置に向けた準備 2,500万円

神岡町における令和8年度からの「公私連携保育所型認定こども園」設置を目指し、職員交流等を開始します。

新規★

出生児へウェルカムベビーボックスのプレゼント 180万円

コープぎふと連携し、市から2万円相当の赤ちゃん向け用品が入ったボックスを贈呈することで出生をお祝いします。



拡充➡

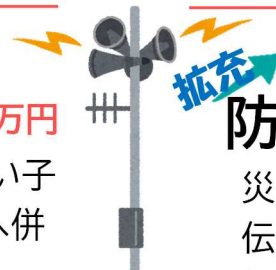
こども達の提案を取り入れた公園づくり 1,485万円

古川西小学校児童の提案を受け、杉崎公園の継続的な整備を行う中で、休憩施設および植栽の整備を行います。

拡充➡

宮川保育園の移転整備 6,388万円

小さな地域ならではの、保・小間の交流及び連携がしやすい子育て環境を整備するため、宮川保育園を宮川小学校校舎へ併設するための工事を行います。



拡充➡

防災行政無線のデジタル化 6億円

災害発生時等における市民への避難情報等の迅速かつ確実な伝達体制を確立するため、令和6～7年度にわたって防災行政無線のデジタル化のための工事を行います。

新規★

ごみ出しサポーターの創設 制度創設

ごみを所定の収集場まで運ぶことが困難な高齢者等を支援する方等をごみ出しサポーターとして登録し、1月あたりごみ袋1冊を交付します。

新規★

思春期健診の試行実施検証 370万円

大人になってから生きづらさを抱えないよう、思春期を迎えたこどもたちの体や心の状態や問題を把握するための「思春期健診」について実施検証を行います。

あんき

誰一人取り残さないまちをつくる

弱い立場にある方々の支援をはじめ、ダイバーシティのまちづくりや多文化共生、平和への貢献に関する取組みを行います。



拡充

ふらっと+ (プラス) 支援ラボの研究基礎体制づくり 182万円

専門医や看護師とコラボし、生きづらさを抱える方の困りごとを予防的に介入していく体制づくりを行います。



新規

ふらっとまちなか相談の実施 10万円

ふらっとへの様々な困りごとについて、相談者が抵抗を感じることなく気軽に相談できるよう、まちなかの多様で日常的な場所で行うことができる環境を整えます。

新規

ふらっとジャストフィット就労 66万円

フルタイム勤務が困難な方の就労環境を整えるため、市内企業と連携のうえで仕事の切出しを行い、その業務と就労困難な方とのマッチング等を行うための実践検証を行います。

拡充

小中学校へのOT派遣拡大 702万円

学校と協働による個別支援を実施するため実施しているOT(作業療法士)による定期訪問について、全ての小中学校において毎月2回訪問するよう支援の充実を図ります。

拡充

教育相談員の追加配置 1,803万円

生活面や学習面で不安を抱える児童生徒に対し早い段階で適切な支援を行うため、小学校における校内教育支援センター(相談室)の教育相談員を増員します。

新規

高齢者のスポーツ環境整備 5,000万円

飛騨市シニアクラブ連合会から要望いただいている高齢者の利用機会が多い既存スポーツ施設の環境整備を行うことで、高齢者スポーツの推進と健康増進を図ります。



拡充

ダイバーシティの普及促進 75万円

性別、年齢、障がいの有無、国籍など様々な違いを持つ人々が共存しながら、誰もが自分らしく活躍できるダイバーシティのまちづくりに向け、普及啓発活動を推進します。

拡充

平和都市宣言策定に向けた検討 74万円

より多くの市民が関わり、平和について考え、意見を出し合い、議論したうえで作り上げる平和都市宣言を目指し、策定検討委員会を開催します。

あんき

持続可能な飛騨市役所をつくる

持続可能な市役所の実現を目指し、人材確保対策、業務の見直しやアウトソーシングを行います。



拡充 総務事務BPOサービスの導入

1,081万円

総務事務BPO(Business Process Outsourcing)サービスを導入し、給与支給業務を包括的に外部委託することで、給与事務担当職員の負担軽減を図ります。



新規 放課後児童クラブ等業務の包括業務委託

1億4,200万円

人材と持続的な業務体制を確保するため、令和6年度から放課後児童クラブ、校務員、学校司書、児童生徒支援員の管理及び運營業務を包括的に外部委託します。

新規 書かない窓口の実現

2,737万円

窓口専用システムの導入により窓口における各種申請書類への記入手間を減らすことで手続の所要時間を短縮し、「書かなくても良い窓口」を実現します。



割石温泉の運営体制見直し

1,787万円

割石温泉の窓口、清掃、レクリエーション事業を包括的に外部委託することで、民間事業者の人材力、専門的知識等を活かした持続可能な運営体制を構築します。

拡充 集落支援員・地域おこし協力隊・地域プロジェクトマネージャーの登用

3,495万円

特別交付税による財政支援がある人材活用制度を活用し、人材の乏しい集落の支援や、市の様々なプロジェクトを推進するための中心人物となる人材を登用します。



公共施設マネジメントの推進

ゼロ予算

部局間で連携のうえ、休止・廃止・取壊し等を行うべき公共施設リストアップや、普通財産化による賃貸借や売却など新たな活用手法を検討します。

拡充 広聴の強化

187万円

市政世論調査の回答方法にインターネット回答を追加するほか、おでかけ市長室、市長と車座トークなど、市長と気軽に対話できる機会を設けます。



長期インターンシップの実施

312万円

長期(1年)インターンシップを新たに導入し、長期の実務を通じてより詳しく市や市役所の魅力を知ってもらう機会を提供することで市職員の確保に繋がります。



誇り

資源と環境を未来に繋ぐ仕組みをつくる

脱炭素化の推進を図るため、再エネ活用や省エネ・リサイクルの促進、自然資源の保全に取り組みます。



森スケによる自然環境保全 50万円

森を助けるヒダスケ「森スケ」を活用し、市内3湿原におけるヨシ刈りやオオバコ除去、登山道の整備など、ボランティアによる自然環境の保全活動を行います。



不法投棄撲滅キャンペーン ゼロ予算

不法投棄防止のための市内パトロールの実施に加えて、各種広報媒体を活用した啓発キャンペーンを行うことで、不法投棄の撲滅に繋がります。



公衆トイレ案内表示の設置 200万円

国道360号を走行する際に、公衆トイレの位置が分かりやすく利用しやすい環境を整えることで、国道利用者の利便性向上と国道沿線の環境保全を図ります。



グリーン専門人材の活用 560万円

グリーン専門人材を環境課に配置し、各課が所管する関連施策を主導的に推進する体制を構築することで、効率的・効果的に地域の脱炭素化を推進します。



資源回収ボックスの更新 537万円

資源回収を行うために設置している24時間資源回収ボックスについて、老朽化が著しい古川町若宮駐車場の既設ボックスを更新します。



脱炭素に向けた取組み推進 297万円

市及び関係団体で構成する飛騨市脱炭素推進協議会に具体テーマごとに部会を設置し、専門的知識を有する業者の伴走支援体制を整えることで取組みの推進を図ります。



住宅省エネリフォームの助成 2,000万円

開口部や外壁、屋根・天井又は床の断熱改修、高効率給湯器や節水型トイレなどのエコ住宅設備の設置等の費用に対し、上限30万円を助成します。



ごみ出し支援アプリの利用拡大 29万円

ごみ収集日だけでなく、50音検索によるごみ分別帳や通知機能などの機能を有するごみ出し支援アプリ「さんあ〜る」について、イベント等による周知を行い利用者増加を図ります。

誇り

地域を担う人材を育てる

持続可能な地域を担う人材を育てるため、地域資源を活用したまちづくり活動の支援や、活動の機運を醸成するための取組みを行います。



拡大

台湾新港郷との友好交流推進 1,090万円

飛騨市と新港郷との交流が民間交流時代から数えて30周年の節目を迎えることから、新港郷において記念イベントが開催されるのを契機にさらなる交流促進を図ります。

拡大

市制20周年をみんなでお祝い 1,000万円

市制施行20周年を契機に市内におけるまちづくり活動を後押しするため、期間限定の支援制度を設け、市民による自発的なまちづくり活動の創出を図ります。

新規

戦国観光資源を活用したPR 295万円

江馬氏城館跡の国指定史跡・国名勝指定、姉小路関連史跡の国史跡指定という好機を受け、商品開発やマップ作成など戦国観光資源を活用した誘客促進を図ります。



新規

止利仏師伝説バスツアー 57万円

止利仏師ゆかりの地である奈良県河合町のほか、止利仏師スポットに赴く独自のバスツアーを開催し、止利仏師伝説の把握・継承と郷土愛を育む機会とします。

新規

ガッタンゴー溪谷コースの法面改修 1,371万円

ガッタンゴー溪谷コースにおける落石の恐れがある個所について落石防止対策工事のための詳細設計を行います。

新規

プロの声優による朗読授業 62万円

まんが王国との関わりを持つプロダクションからプロの声優を招へいし、市内小学校6年生を対象として、国語の時間にプロの声優を講師とする朗読授業を行います。

新規

市有林の活用推進 259万円

古川町信包地内の市有林について、令和7年度以降の整備活用に向け、市民参加型のワークショップを実施し、市民が身近なフィールドとして活用できるよう整備します。



拡大

関係人口と共創するまちづくり 289万円

関係人口と地域の課題を解決する仕組み「ヒダスケ!」を推進するとともに、新たに企業を対象とした企業版ヒダスケを開始し「関係法人」の獲得を目指します。

誇り

未来に誇れる文化、教育をつくる

未来に誇れる文化、教育をつくるため、楽しく学び、安心して過ごせる教育環境と、市民等がスポーツ・文化活動を楽しむことができる環境を整備します。



新規★

神岡小学校プールの更新 350万円

こどもたちが安心安全に学ぶことができる環境を整えるため、老朽化が著しい神岡小学校のプールの改修工事に向け、調査設計業務を行います。

拡充➡

通学路の安全確保 5,550万円

保護者や地域住民からの要望を踏まえた通学路安全推進会議における検討を行いながら、こどもたちが安心・安全に登下校ができる通学路環境を整備します。

拡充➡

ICT機器を活用した学習環境の整備 1億1,050万円

学習環境の整備のため、児童生徒一人につき1台配備しているタブレットPC等のICT機器端末について、整備から5カ年を経過したものを対象として更新します。



拡充➡

地域クラブ活動への移行 2,540万円

令和8年度からの地域クラブ活動への本格移行に向けて、合同部活動実施時の送迎バスの運行、指導者への謝礼支払い等を実際に行い、課題や改善点を整理・研究します。

拡充➡

ひだ流葉クロスカントリー 345万円

令和5年度に引き続き、運営委員会に委託する地域主導の開催とし、おもてなし要素を充実させるなど秋季のクロスカントリーイベントとしての地域定着を目指します。

拡充➡

スポーツ学童の推進 350万円

スポーツ離れやスポーツを行うことのできない環境にあることに対して気軽にスポーツに触れる機会を提供するため、古川地区・神岡地区でのスポーツ学童の開設日を増加します。

新規★

姉小路氏城跡の継承 650万円

史跡の保存活用計画策定に向けた検討委員会を立ち上げるとともに、並行して関係課連携のうえガイド養成やガイドマップの制作、現地案内表示看板の設置などを行います。



拡充➡

「旧中村家」の修復 3,183万円

段階的な修復工事に着手するとともに、貴重な文化財修復現場を目にする機会を市民等に提供するため、工事期間中は可能な限り現場公開を行います。

持続可能な 飛騨市づくりのために

人口減少によって、各産業界の事業や地域の活動をこれまでと同様に維持継続していくことが困難となっており、市役所も例外ではありません。市では、「持続可能な飛騨市」を実現するため、市業務のアウトソーシングや各事業等を持続化するための取組みを積極的に進めていきます。

〈注〉下表の🌈マークがあるものは、持続可能な飛騨市づくりのための重点施策として行うものです。なお、取組内容は「令和6年度予算主要事業の概要」に掲載しています。

■ 市役所業務のアウトソーシング (単位:千円)

No,	業務内容	予算額
1	総務事務BPOサービスの導入 🌈	10,811
2	会計年度任用職員に係る人事労務システムの導入	9,596
3	ふるさと納税ワンストップ特例申請処理	2,750
4	公用車管理業務(タイヤ交換、清掃)	290
5	広報取材業務委託	1,210
6	公共料金明細事前通知サービス導入	1,021
7	移住窓口業務委託	2,890
8	市制20周年記念事業推進補助金の事務委託	1,000
9	名札のICカード化による業務効率化推進	948
10	PC等設定・修繕等の外部委託	1,716
11	有事におけるドローン出動	500
12	新築家屋調査における評価図面の作成委託	500
13	税務課窓口業務	500
14	預金調査システム導入による債権回収の強化	425
15	各種証明書にかかるコンビニ交付の普及促進	102
16	火葬予約システム導入	1,100
17	地籍調査の工程管理及び検査	68,000
18	割石温泉包括業務委託料(※備品購入含む) 🌈	17,865
19	農地利用状況の情報更新	2,747
20	森林経営計画策定業務	4,103
21	特殊建築物法定報告書作成	7,200
22	放課後児童クラブ等の包括業務委託 🌈	142,000
23	英語教師(民間派遣)	10,890
24	体育施設鍵管理及び予約状況確認	512
25	公民館の管理業務軽減化(※除雪委託除く) 🌈	16,137
26	みやがわ考古民俗館施設管理	1,000
計		305,813

■ 持続化を図るための取組み (単位:千円)

No,	業務内容	予算額
1	空き店舗等を活用した飲食店等賃貸に対する支援検討 🌈	0
2	公共交通事業における運転手の確保 🌈	400
3	事業承継を支援するためのネットワークの構築 🌈	0
4	事業者のDX化促進 🌈	3,000
5	土地利用型農業検討会議による検討 🌈	260
6	市による農業機械の貸出し 🌈	7,493
7	耕作放棄地の利活用に向けた検討と実証 🌈	6,500
8	牛放牧による耕作放棄地の粗放的活用 🌈	6,000
9	公私連携保育所型認定こども園設置に向けた準備 🌈	25,000
10	宮川保育園の移転整備(宮川小学校校舎への併設) 🌈	63,880
11	防災アドバイザー設置による地域防災力の向上 🌈	800
12	消防団における負担軽減～NEO(新しい)飛騨市消防団～ 🌈	0
13	公共交通の運転手安定確保のための連携組織の研究 🌈	0
14	地域助け隊「ごみ出しサポーター」制度の創設 🌈	0
15	地域における草刈作業への柔軟な支援 🌈	1,408
16	神岡町山之村地区におけるオンライン診療実証事業 🌈	1,044
17	有識者等を交えた飛騨市民病院のあり方の検討 🌈	10,418
18	買物弱者に対する支援 🌈	7,000
19	地域包括支援センターのアウトソーシングに向けた検討 🌈	0
20	公共施設マネジメントの推進 🌈	0
21	小規模な水道施設の統合整備 🌈	15,637
22	下水道施設の統合に向けた検討 🌈	17,721
23	森スケによる自然環境保全 🌈	500
24	グリーン専門人材の活用 🌈	5,600
25	脱炭素に向けた取組み推進 🌈	2,970
26	資源回収ボックスの更新 🌈	5,370
27	住宅省エネリフォームの助成 🌈	20,000
計		201,001

令和6年度での予算化を見送った事業

飛騨市財政運営の基本指針「入るを量りて出ざるを制す」の考えのもと、税金や地方交付税等の収入を予測し財源を見定めた上で、予算査定の段階において優先度や他事業とのバランス等を考慮し、27件(約10億6,600万円)の事業について止む無く予算化を見送りました。

主な事業

- ◆ 屋内運動場整備
- ◆ 鉱山資料館リニューアル
- ◆ 議会本会議場等リニューアル設計
- ◆ 神岡方面隊消防器具庫設計
- ◆ 観光施設の維持修繕工事
- ◆ 庁舎施設の維持修繕工事
- ◆ 割石温泉施設改修
- ◆ ゆうわ〜くはうす施設修繕
- ◆ 神岡町公民館等維持修繕工事
- ◆ 文化交流センター維持修繕工事
- ◆ 美術館屋根瓦改修工事

これらの事業は、引き続き事業の精査を続けるとともに、財源確保状況により年度途中においても予算化を検討していきます。

令和6年度当初予算のポイント

令和6年2月

飛騨市役所 企画部 総合政策課

☎ 0577-73-6558 (ダイヤル)

✉ sougouseisaku@city.hida.lg.jp



HIDA CITY

飛騨市